

》》 長期ビジョン 2035 》》



公立大学法人

九州歯科大学

KYUSHU
DENTAL
UNIVERSITY

VISION

長期ビジョン

1. 目的・背景等

本学の歩み

本学は1914年の開設以来、患者中心の歯科医療を提供できる歯科医師や歯科衛生士を数多く輩出し、全国唯一の公立歯学部・歯科大学として、2024年に創立110周年を迎えた。2014年の創立100周年を機に、次なる世紀に向けた新たな大学づくりに踏み出すにあたり、「九州歯科大学憲章」を掲げ、「口腔医学の総合大学」として、充実した教育・研究・臨床活動の展開に取り組んでいる。

本学を取り巻く環境の変化

2004年に公立大学法人化以降、本学を取り巻く環境は大きく変化し続けている。特に新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、社会情勢は劇的な変化を迎え、「アフターコロナ」の状況下で持続可能な社会の再構築が求められている。また諸外国と比較しても我が国の少子高齢化の動きは加速の一途をたどり、2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%になると推計されている（厚生労働省HP）。これに対応するために、厚生労働省は地域包括ケアシステムの構築を推進しており、令和元年に閣議決定された「成長戦略実行計画」において、予防医療の充実による健康寿命の延伸が掲げられている。

歯科医療においては、「全身疾患を有する治療の難度・リスクの高い歯科治療」の需要が高まり、各ライフステージや体の状況に応じた「地域完結型」の歯科医療の構築とそれを担う歯科医療人の育成や新たなステージの歯科医療を支える質の高い研究の遂行が求められている。特に北九州市は全国の政令指定市のなかで最も高齢化率が高く、2040年には37.7%に到達すると推計されており、本学は世界最速でこの課題に直面するフロントランナーとしての使命を抱えている。

長期ビジョンの必要性

大学がこれまで蓄積してきた知識や経験を結集し、劇的な転換期に差し掛かっている歯科医学や歯科医療のさまざまな課題へ取り組み、最適解を示していくことが、歯科大学や歯学部に課せられた重要な役割である。

このような状況のなかで、九州歯科大学がさらなる発展を目指す上で、6年間の中期計画を超えた長期ビジョンを策定し、本学が「将来目指すべき姿」を明確化する機運が高まった。本学で学び、働くすべての人々がビジョンを共有し、これに基づく取り組みを進めていくことで、本学の持続的で明るい未来の創造に繋げていく。

長期ビジョンは、「教育」、「研究」、「診療（附属病院）」、「地域連携・国際連携」、「法人運営」の5分野で構成する。

教 育

目指す姿

日本そして海外の歯科医療を牽引する
全人的歯科医療人を育成します。

教育指針

1. 学生の能動的かつ主体的学習を育成します。

- (1) 卒前教育の質の向上
- (2) デジタル技術などを活用した新たな教育システムの導入
- (3) 問題解決能力及び研究能力の向上

2. 地域包括基盤となる多職種連携教育を充実させます。

- (1) 多職種連携教育プログラムの充実
- (2) 地域基盤型歯学教育カリキュラムの構築

3. 医療の国際化に対応できる歯科医療人を育成します。

- (1) グローバル教育プログラムの整備

4. 最短修業年限での国家試験合格率を維持・向上させます。

- (1) 振り返り学習の充実
- (2) 診療参加型臨床実習の拡充
- (3) 教育 I R センターによる評価システムの充実
- (4) 適切な評定・評価の定期的な点検整備

5. 学生の生活支援、キャリア教育を充実させます。

- (1) 修学環境に対する支援の拡充
- (2) アントレプレナーシップ教育の強化

6. 教員の資質を磨き、教育者としての質を確保します。

- (1) 科学的根拠に基づいた教育を実践し、学問の発展へ寄与する教員の育成
- (2) 教育スキルの醸成とアップデートを目的とした F D 活動の推進

研究

目指す姿 **アジアトップレベルの歯科医学研究を展開します。**

研究指針

1. 歯科医学を支える先進的で独自性の高い研究を推進します。

- (1) 研究を推進するため体制を構築
- (2) 持続可能な研究推進のための研究資金の確保
- (3) 先端的医学研究に対応可能な実験設備の整備

2. 地域社会に貢献できる研究を推進します。

- (1) 福岡県・北九州市における地域特化型の研究テーマの設定と推進
- (2) 研究成果の地域社会への還元
- (3) 多様な地域課題への対応力を強化するための人材の育成

3. 国際的・学際的な研究を活性化します。

- (1) 国際的な研究ネットワークの構築
- (2) 学際的研究プログラムの開発
- (3) グローバル人材の育成

4. 研究者間の連携・協働によるイノベーションを創発し、自走できる研究組織を目指します。

- (1) 自走型研究組織の育成
- (2) 研究者間の連携・協働を促進するための組織体制の構築

5. 大学院生を含む若手研究者を育成します。

- (1) 若手研究者が活躍できる環境の構築
- (2) 若手研究者のスキルアップ制度の構築
- (3) シニア研究者以外のキャリアパスの提示

6. 研究成果の発信力を強化します。

- (1) 学術的な発信力の強化
- (2) 発信基盤の整備
- (3) 産業界への発信

目指す姿

病院機能の充実を図り、地域と連携した高度先進医療を提供します。

診療指針

1. 病院機能の強化・充実を図ります。

- (1) 地域のニーズに合わせた診療科の新設、見直し
- (2) 外国からの患者を受け入れるグローバル体制の構築
- (3) 歯科衛生士を中心とした口腔健康管理による健康維持・増進への貢献

2. 安全で質の高い高度先進医療を提供します。

- (1) 最先端の設備を備え、最新の治療と安全で質の高い診療環境を提供
- (2) 最新のデジタル技術を活用した診療プロセスの効率化と安全性の向上
- (3) ICTを活用したオンライン（遠隔）診療などによるサポート体制の構築

3. 地域の医療機関との連携を図ります。

- (1) 地域の中核病院との連携体制の強化（「病院完結型」から「地域完結型」へ）
- (2) 医療的ケア児など地域のスペシャルニーズへの対応強化
- (3) 治療内容に応じた各専門医による訪問診療体制の構築

4. 質の高い臨床研修プログラムを確立します。

- (1) 卒前教育から卒後教育までの統合型カリキュラムによる学生の臨床能力の向上
- (2) 専門医を取得できる研修プログラムの提供や多様なキャリアパスの提示
- (3) 歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士に対するリカレント教育の導入

5. 安定した病院運営・経営基盤を確立します。

- (1) 効率的経営構築のためのIT・DX化による病院経営収支の把握・分析
- (2) 最先端の設備導入や既存の機器更新を見据えた病院収益の確保
- (3) 持続可能な病院運営のための働き方改革の推進

6. 附属病院の発信力を強化します。

- (1) 附属病院内での広報活動の充実
- (2) 病院の取り組みや最新の医療情報に関する外部への積極的な情報発信

地域連携・国際連携

目指す姿 「地域」や「世界」と積極的につながり、
歯科医学の発展に貢献します。

地域連携・国際連携指針

1. 地域医療の充実や歯科医療の発展に貢献します。

- (1) 医療関連団体との連携システムの強化
- (2) 地域包括ケアシステムへの積極的な参画
- (3) 地域密着型の教育研修プログラムの確立

2. 海外の大学との連携・交流を強化します。

- (1) 国際的な学术交流の充実

法人運営

目指す姿 **成長と共に持続可能な法人運営を
確立します。**

法人運営指針

1. ダイバーシティを軸とした組織基盤・人材基盤を確立します。

- (1) プロフェッショナルの育成
- (2) 教職員の適性を活かした人事配置を徹底
- (3) 教職員の適性を活かす組織を確立し、教職連携を推進
- (4) 多様な働き方を推進し、安定した職場環境を構築

2. 財源と資産を効果的に活用し、個性を発信します。

- (1) 継続的な財源確保
- (2) 中長期的観点を重視した財源措置

3. 業務効率化を徹底し、生産性を向上させます。

- (1) 業務パフォーマンスの向上
- (2) 業務サービスの質向上

4. 情報マネジメントを徹底し、効率的かつ効果的な情報発信を強化します。

- (1) データセキュリティの強化
- (2) IRを軸とした学生募集及び学生教育を展開

5. 内部統制を強化し、健全な法人運営を継続します。

- (1) 業務の有効性や効率性を確保
- (2) コンプライアンスの遵守徹底